

# 地域医療連携新聞

No.33

平成22年2月号  
(隔月発行)

発行/朝日大学村上記念病院(地域医療連携室)  
岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL.058-253-8001(代)  
TEL.058-253-8920(直) FAX.058-253-8910(直)

## 最近の話題・トピックス

### 『ビスホスホネート系薬剤と顎骨壊死』

歯科口腔外科 村松 泰徳

2003年、ビスホスホネート(BP)製剤の注射を行っている患者の顎骨壊死についての報告がさた以降、BP製剤と顎骨壊死との関連が示唆される症例が多く報告されるようになりました。そのほとんどは、がんの患者に対する高用量静脈内投与で発生していましたが、経口製剤での発症も認められ、また抜歯などの観血的な歯科治療を行った後に多くは発生したことから、歯科医療現場でもいささか混乱が生じました。抜歯や歯周外科などの観血的な歯科治療を行う場合、とくに経口BP製剤の休薬をお願いするべきか否か、その必要性については多くの見解があり、また休薬によるリスクも問題になりました。その後、さらに症例の集積と分析が進み、現在は以下のような診断基準と治療指針がまとまりつつあるようです。

- (1) 診断基準；BP系薬剤関連顎骨壊死の診断基準の一つは次の3つの評価基準を満たすというものである。①骨の露出が8週間以上継続する。②頭頸部への放射線治療の既往が無いこと。③ BP製剤の治療の経験があること。この診断基準が現在一般的なものとなっています。
- (2) 発生頻度；BP製剤に関連する顎骨壊死の発生頻度は、概ね経口薬で1人/1万人、注射薬1人/100人程度とされている。
- (3) 治療指針；2009年末をめどに骨粗鬆症学会、骨代謝学会より指針が出される予定でありましたが、この原稿を書く時点ではまだ発表はありません。概ね以下のような骨子になるようです。

- 顎骨壊死は口腔細菌の感染が引き金となり発症、増悪するため、口腔内の衛生状態を保つことが発症予防に有効。
  - 骨粗鬆症や骨代謝疾患の患者に対する経口薬の場合投与期間が3年未満であり、顎骨壊死のリスク因子（コルチコステロイド投与、糖尿病、喫煙、飲酒、口腔衛生の不良、化学療法薬など）がない場合には、口腔清掃の実施で抜歯やインプラントなどの外科的な歯科治療前後の休薬は不要。
  - 投与期間が3年以上、もしくは何らかのリスク因子を持つ場合には、主治医と歯科医師の話し合いの下で休薬の有無を決める。休薬する場合、処置3カ月前から処置後2カ月までを休薬の目安とする。ただし、より早期の投薬再開が必要と判断された場合、処置後2週間が経過し、傷跡に問題がなければ再投薬が可能。
  - 注射薬の場合、顎骨壊死リスクを説明した上で、患者が歯科治療を望む場合、口腔清掃を実施した上で、休薬なしに治療できる。可能であれば投与開始前には口腔内の必要な外科的処置は終わらせ、また以後の口腔内の検診、清掃と指導を徹底して頂く。現在のところ、確実に予防する方法は無いが、歯科医師等による口腔清掃や、歯科治療前の抗生剤の投与などにより、発症のリスクを低下させることができるともいわれる。
- 以上のことより、骨粗鬆症や骨代謝疾患の治療に用いる低用量の経口薬は、顎骨壊死の発症に関連しない、もしくは発症リスクは非常に低いものとし、BP製剤投与を理由に観血的処置も含めての歯科治療を変更することはいたしません。
- 可能であれば、投与されるすべての患者が定期的な歯科検診と口腔清掃を受けていただければと思います。定期的な歯科検診・口腔清掃を受けておらず、BP製剤投与を受ける患者においても、投与開始前もしくは投与開始早期の歯科検診と口腔清掃が有益であると考えます。

村上記念病院

直通電話番号

脳卒中 **ホットライン** 070-6583-6677

脳卒中治療は一刻を争います。当院では  
専門医が速やかな診断・治療を行います。

## 院内研修会等のご案内

## 新任医師のご紹介

(1月より赴任)

### ◎第18回

### 開放型病床研修会

日時・場所 平成22年2月10日(水) 午後8時～ 8階講堂  
講演 ①「糖尿病網膜症」眼科 堀尾直市  
②「関節リウマチに対する薬物療法」  
— 最近の動向と当院における現状 —  
整形外科 日下義章



### ◎第35回

### 肝胆膵疾患臨床報告会

日時 平成22年3月18日(木) 午後8時～  
場所 ホテルリソル岐阜 (☎058-262-9269)  
特別講演 「C型慢性肝炎・肝硬変治療に対するIFN-β製剤の位置づけ」  
講師 虎ノ門病院 肝臓内科 医長 荒瀬 康司 先生



循環器内科

ひろせともこ  
助教 廣瀬 智子



# 診療医ご案内

(平成22年 2月1日現在)



診療科		月	火	水	木	金	土
総合内科		—	—	—	井田	—	—
消化器内科	1 診	井田	高野	小島	加藤(隆)	奥田	—
	2 診	小島	大洞	堀江	橋本	福田	—
	初診	加藤(隆)	担当医	宮田 (非常勤)	担当医	大洞	担当医
循環器内科	1 診	瀬川	加藤(周)	瀬川	加藤(周)	瀬川	担当医
	2 診	割田	早川 (非常勤)	割田	廣瀬	廣瀬	—
糖尿病・内分泌内科	1 診 2 診	猿井 —	武田 猿井	武田 佐々木	猿井 佐々木	猿井 武田	武田 佐々木
呼吸器内科		西村	西村	舟口 (非常勤)	西村	西村	—
外科	1 診	江川	川部	江川	中嶋	川部	担当医
	2 診	園田	門川	門川	園田	中嶋	山本 (第2・4週目)
乳腺外科	初診 再診	榎木 —	細野	安部(ま)	細野 (榎木)	安部(ま)	担当医 (予約制)
脳神経外科	1 診	石澤	郭	山下	石澤	安藤	郭
	2 診 (10:30~)	安藤	野村	安藤	野村	—	山下
整形外科	初診	日下・河合	村上	青芝	中澤	長島	青芝(1週) 村上(2週) 長島(3週) 中澤(4週) 河合(5週)
	予約診	—	河合	中澤	河合	大友	
	予約診	—	今泉	日下	長島	日下	今泉 (第1・3週)
	予約診	—	青芝	村上	塚原	今泉	塚原 (第2週)
眼科	1 診	堀尾	矢田	堀尾	堀尾	高橋	矢田 (1・3・5週目) 高橋 (2・4週目)
	2 診	矢田	奥村 (非常勤)	高橋	矢田	奥村	
泌尿器科		江原	伊藤 (非常勤)	江原	江原	江原	—
歯科・口腔外科		村松・本橋 —	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村・本間	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村

【ご案内】 ●診療受付時間は、全科8:00~11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)

●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。